

外の代理店網を活用し積極的に展開したい考え。同社の柱である除雪機として認知度を広げている。昨年新潟で開催されたG8労相会議でも展示された。

フジイコーポレーション 新型乗用草刈機を開発

介氏)は果樹園向けに曲面デザインを施した新型乗用草刈機IIを開発し、近日発売予定だ。

型式はME1017X、高級機として位置づけられ前進、後進しきを用意する。

手持ちの刈り払

い機を使用するより短時間で効率的に作業でき、後継者不足に悩む農家に対し、農作業の機械化で効率化に貢献する。希望小売価格は税込み82万5300円。販売は国内、海

鋼材加工、除雪機、草刈機製造のフジイコーポレーション

ながら草を刈る。刈幅は950ミメ、17馬力ガソリンエンジンを搭載。前輪内側へ草の巻付きを防止するフェンダーを開発(特許出願中)。

車体の下部で刈刃を回転させ走行しながら草を刈り、果実、樹木の損傷を抑える丸みを帯びた高張力鋼板フレーム(カバー)のデザインが特徴。高張力鋼板の採用で強度が上昇し、衝撃による変形が少なく軽量化を実現した。鋼板加工は同社のダイレスプレス事業で行っている。

(本社・燕市小池、社長・藤井大介)

写真

